

白井市第6次総合計画 前期基本計画骨子

構成

1. 前期基本計画の概要
 - 1.1 計画の位置づけ
 - 1.2 計画の構成
 - 1.3 計画の期間
 - 1.4 計画の体系
 - 1.5 財政の見通し
2. 将来像の実現に向けた施策体系図
3. 目指すまちの実現に向けた目標と施策
4. 事業の効率的・効果的な進め方

Ⅲ. 前期基本計画

1. 前期基本計画の概要

- 1.1 計画の位置づけ
- 1.2 計画の構成
- 1.3 計画の期間
- 1.4 計画の体系
- 1.5 財政の見通し

2. 将来像の実現に向けた施策体系図（別紙）

3. 目指すまちの実現に向けた目標と施策

3.1 若い世代が定住したいまち

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

若い世代が定住したいまち	
目的	若い世代が継続して居住し、人口構造のバランスがよいまちを目指します。
方針	そのために、就学、就職、結婚、出産、子育てなどのライフステージの変化があっても、若い世代が安心・健康・快適にらせる環境づくりを推進します。また、白井市で子育てしたいと思える充実した教育環境づくりを推進します。

(2) 目的・方針を踏まえた目標の設定

若い世代は、結婚や出産といったライフステージの変化に対して、生活環境の変化や経済的な負担などへの不安を感じており、ライフイベントを安心して迎えられることが重要です。また、共働きやひとり親など、様々な事情を抱えながら子育てをしている若い世代の負担を軽減するためには、子育てしやすい環境を整えることが重要です。さらには、白井市で子育てをしたいと思う若い世代の定住を促進するためには、魅力的な教育環境を整えることが重要です。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 若い世代がライフステージの変化に寄らず安心できるまち

目標 2 子育てしやすいまち

目標 3 魅力的な教育で住みたくなるまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
若い世代がライフステージの変化に寄らず安心できるまち	総人口に占める生産年齢人口及び年少人口の割合			住民基本台帳
	出生数			市資料
	合計特殊出生率			厚生労働省公表値
子育てしやすいまち	子育てにおける満足度			市民意識調査
魅力的な教育で住みたくなるまち	教育における満足度			市民意識調査

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 結婚から出産までライフステージが変化しても安心できるまち

【現況や課題】

就職や結婚、子育てなど、ライフステージの変化によって居住形態が変化していくことが想定されますが、白井市では様々な居住形態に応じた居住環境の受け皿が不足しています。

また、結婚や出産・子育てには、経済的・心理的な負担がかかります。白井市においても、妊娠や出産、子育ての経済的な負担や、ライフステージの変化に伴う仕事などへの支障といった負担を感じている人が多いです。

根拠を示すグラフ等

根拠を示すグラフ等

【課題の整理】

結婚から出産までライフステージが変化しても安心できるまちを達成するには……

- ・若い世代に向けた住環境の整備が必要
- ・出会いから子育てまでのライフイベントを安心して迎えるための支援が必要

目標 2 子育てしやすいまち

【現況や課題】

ライフスタイルの多様化や共働き家庭の増加、外国籍の住民の増加など、子育て世代が抱える事情が多様化しています。様々な事情によらず、子育てしやすい環境が望まれています。

根拠を示すグラフ等

根拠を示すグラフ等

【課題の整理】

子育てしやすいまちを達成するには……

- ・線引きのない教育・保育の推進が必要
- ・育児と仕事が両立できるような働きやすい環境づくりの推進が必要

Ⅲ. 前期基本計画

目標 3 魅力的な教育で住みたくなるまち

【現況や課題】

国土交通省「人口減少時代における移住・定住の促進に関する調査(2020年)」では、「教育環境の充実」は移住先を選ぶ際の重要な要素の一つとされ、特に子育て段階において重視されていることが分かります。地域社会の課題を考え、自分達の意見を発表する「白井市スクールサミット」などは、コミュニケーション能力や問題解決能力を育みます。こうした未来の人材育成につながる様々な経験ができる教育環境の充実が望まれています。

根拠を示すグラフ等

根拠を示すグラフ等

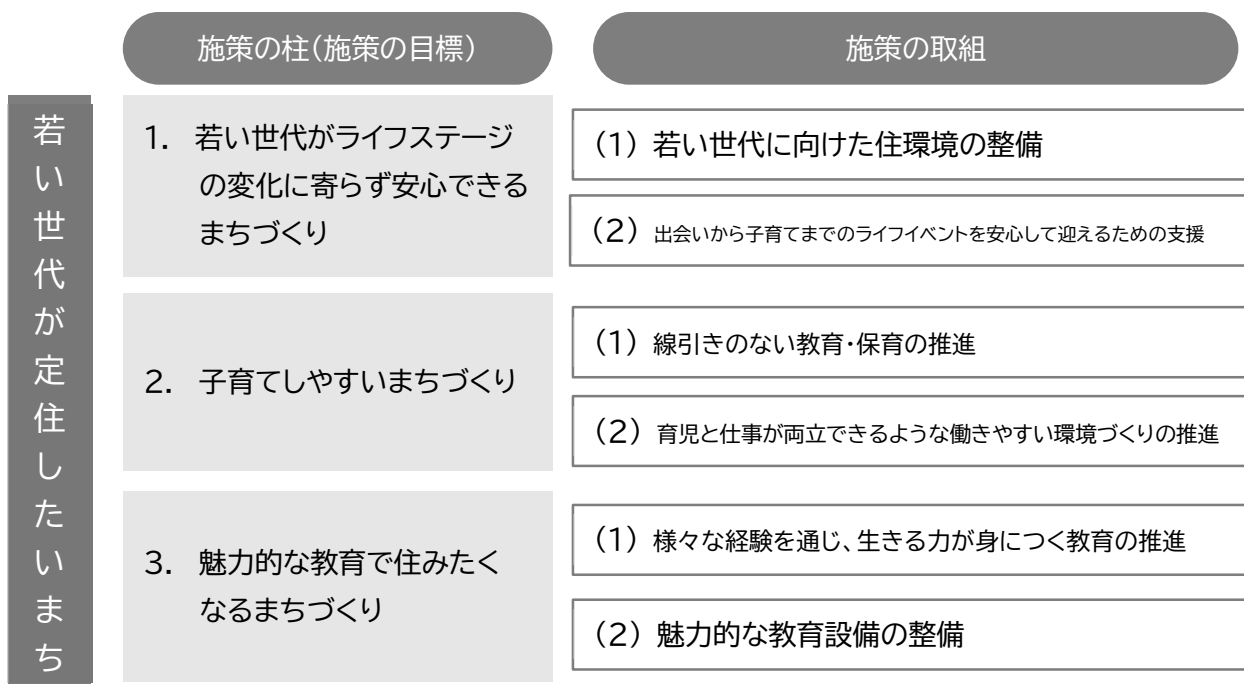
【課題の整理】

魅力的な教育で住みたくなるまちを達成するには……

- ・様々な経験を通じ、生きる力が身に着く教育の推進が必要
- ・魅力的な教育設備の整備が必要

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とお示します。



Ⅲ. 前期基本計画

目標 2 子育てしやすいまち

③ 線引きのない教育・保育の推進

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
インクルーシブ教育利用者数			事業評価
インクルーシブ教育に対する評価			事業評価→市民意識調査等
一時保育事業の利用者数			事業評価
一時保育事業の満足度			市民意識調査等
待機児童数			市資料
保育事業の(総合)満足度			市民意識調査等
学習支援事業の満足度			市民意識調査等

④ 育児と仕事が両立できるような働きやすい環境づくりの推進

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
保育事業の(総合)満足度【再掲】			市民意識調査等
テレワーカー育成コース参加者のワイフワークバランス向上数			市民意識調査等

目標 3 魅力的な教育で住みたくなるまち

⑤ 様々な経験を通じ、生きる力が身に着く教育の推進

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
市立学校に対する満足度			市民意識調査等

Ⅲ. 前期基本計画

3.2 誰もが交流し支え合えるまち

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

誰もが交流し支え合えるまち	
目的	多様な主体が交流し相互理解を深め、共に支え合うことで地域課題を解決できるまちを目指します。
方針	そのために、それぞれが連携し新たな居場所や交流の場の創出を進めるとともに、多くの人々がまちづくりへ参画できる仕組みづくりを推進します。また、既存の施設を有効活用した地域活動の活性化や誰もが気軽に移動できる環境づくりを推進します。

(2) 目指すまちの目的・方針を踏まえた目標の設定

地域の抱える課題が多様化する一方で、行財政には限りがあります。地域固有の課題を解決していくためには、地域が一丸となって自ら地域課題を解決する力をつけていくことが求められます。また、白井市では地域コミュニティの希薄化や、それに伴う役員不足が課題となっています。地域力を高めるためには、地域住民同士の交流を促進し、地域のつながりを高めていくことが重要です。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 自ら地域課題を解決するための地域力が向上するまち

目標 2 地域交流が促進されるまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
自ら地域課題を解決するための地域力が向上するまち	地域活動や行事に参加している割合			市民意識調査
地域交流が促進されるまち	交流・関係人口			リーサス
	用途別目的地の市内率			市民意識調査

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 自ら地域課題を解決するための地域力が向上するまち

【現況や課題】

人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の多様なニーズに答えるためには、行政だけでなく、地域が主体となって、共に支え合うことで地域課題を解決しなければなりません。一方で、ワークショップでは、地域コミュニティの「担い手不足」を課題と感じるという意見が挙がっており、多様なコミュニティへの関わりを許容しながら、共に支え合える仕組みを模索していく必要があります。

移動手段においても、高齢化による免許返納者の増加や 2024 年問題への対応として、誰もが気軽に移動できる環境について、地域で考え、取組んでいく必要があります。

【課題の整理】

自ら地域課題を解決するための地域力が向上するまちを達成するには……

- ・共に支え合うことで地域課題を解決できる仕組みづくりが必要
- ・誰もが気軽に移動できる交通環境の形成が必要

目標 2 地域交流が促進されるまち

【現況や課題】

近年、高齢者や障がい者、外国籍の人々など、様々な背景を持つ人々が全て分け隔てなく暮らしていくことのできる共生社会の実現が求められています。様々な人々が集まり、交流するためには、居場所・交流の場づくりや機会を作る必要があります。

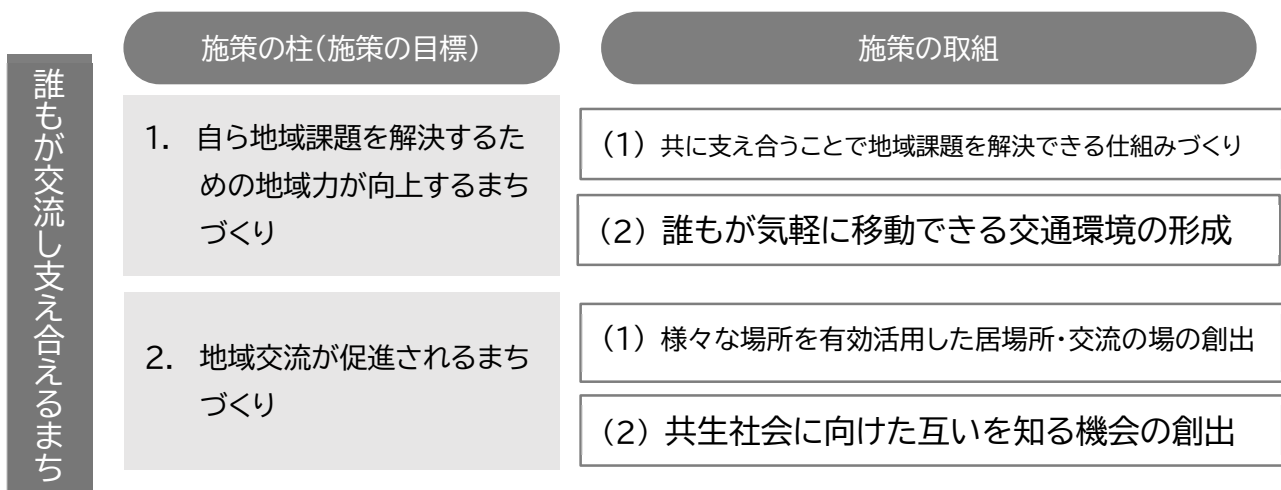
【課題の整理】

地域交流が促進されるまちを達成するには……

- ・様々な場所を有効活用した居場所・交流の場の創出が必要
- ・共生社会に向けた互いを知る機会の創出が必要

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。



Ⅲ. 前期基本計画

(5) 目標達成に向けた施策の取組

Ⅲ. 前期基本計画

3.3 自ら学び育ちチャレンジできるまち

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

自ら学び育ちチャレンジできるまち	
目的	一人ひとりが自ら学び育ち、自らの能力を発揮するためにチャレンジし、生きがいを持って暮らすことができるまちを目指します。
方針	そのために、子どもから高齢者まで、生涯にわたって成長できる環境づくりを進めるとともに、一人ひとりが地域の活性化につながる活動に挑戦できる仕組みづくりを推進します。また、多くの市民が、心身の健康を保ち・増進できる環境づくりを推進します。

(2) 目指すまちの目的・方針を踏まえた目標の設定

市民が自らスキルを習得し、新たにチャレンジしていくことは、地域の活力を高めるとともに、個人のいきがいにつながります。市民の学びを促進するためには、心身ともに健やかな生活を支援するとともに、健康づくりや体験を通じた学びの場を提供することが重要です。また、アイデアを自由に発揮する機会があり、アイデア実現を支援する基盤があることで、習得した知識やスキルを活かし、新しいことへのチャレンジの促進につながると考えられます。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 年齢にかかわらず学べるまち

目標 2 年齢にかかわらずチャレンジできるまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
年齢にかかわらず学べるまち	新たな学びにより生きがいを感じた市民の割合			市民意識調査
年齢にかかわらずチャレンジできるまち	新たな挑戦により生きがいを感じた市民の割合			市民意識調査

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 年齢にかかわらず学べるまち

【現況や課題】

長寿命化が進む中、身体的な健康だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送るために、健康寿命を延ばす取組みが注目されています。要介護状態にならずにいきいきと暮らすためには、日頃からの健康づくりや生活習慣予防に取り組む必要があります。白井市では、近隣市町村と比較して高齢者の要介護・要支援認定率が低いですが、高齢化が進む中では引き続き健康意識の向上を目指した活動に力を入れていく必要があります。

また、生涯にわたって学び続けることは、自己成長だけでなく、社会的つながりや健康維持、自己実現、柔軟な思考を通じて、生きがいをみつけるための重要な手段となります。

【課題の整理】

年齢にかかわらず学べるまちを達成するには……

- ・ライフステージを通じた健康づくりの推進が必要
- ・体験を通じた学びの場の創出が必要

目標 2 年齢にかかわらずチャレンジできるまち

【現況や課題】

学びの成果を地域社会で活かすためには、市民が習得したスキルと地域社会のニーズを効果的にマッチングする仕組みが不足しています。また、学びの成果を適切に評価し、フィードバックを提供する仕組みが不足しています。これにより、市民が学びの成果を実感しにくく、モチベーションの維持が難しい状況です。

住民同士の交流によって、市民がアイデアを表現できる機会を創出し、学びによって得たスキルを地域社会で活かすことによって、社会の豊かさに貢献することが可能になります。

【課題の整理】

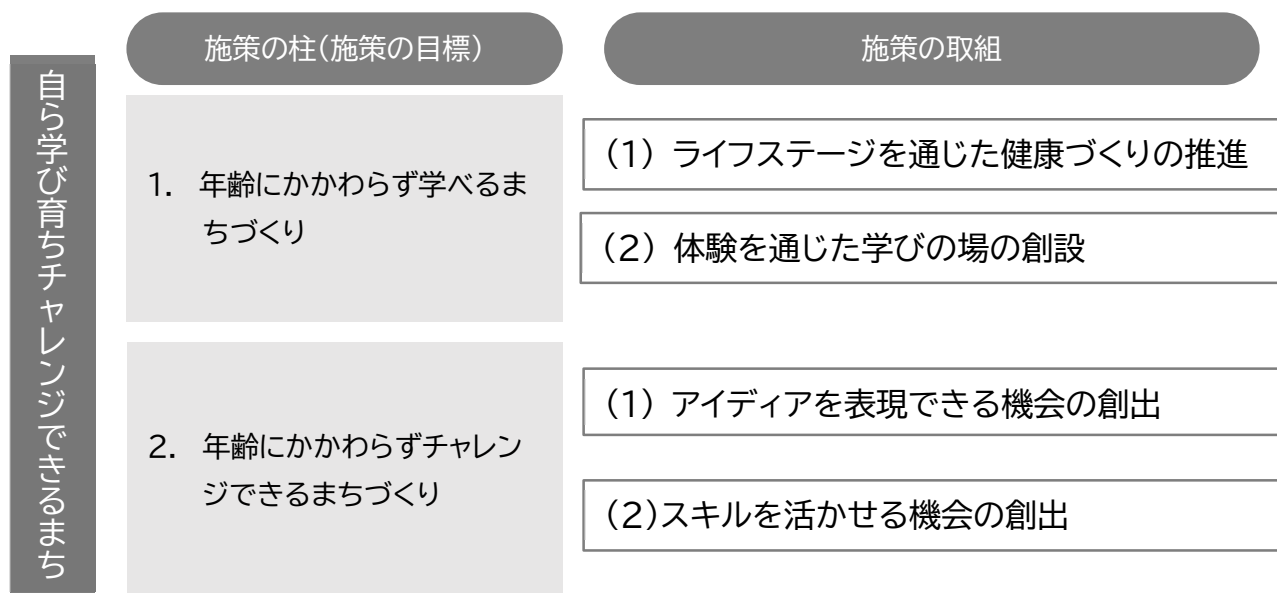
年齢にかかわらずチャレンジできるまちを達成するには……

- ・アイデアを表現できる機会の創出が必要
- ・スキルを活かせる機会の創出が必要

Ⅲ. 前期基本計画

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。



(5) 目標達成に向けた施策の取組

Ⅲ. 前期基本計画

3.4 白井らしい環境が残るまち

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

白井らしい環境を活かすまち	
目的	自然環境と都市環境が調和する「白井らしさ」を持つ資源を活かし、次世代に継承されるまちを目指します。
方針	そのために、「白井らしさ」を持つ資源を発掘・共有し、自然環境の保全や利活用を進めるとともに、持続可能な農業を実現し、みんなが誇りに思える白井市の特産品を後世に残す取組を推進します。 また、老朽化した建物への対応を進めるとともに、空き家対策や未利用地の有効活用を推進します。

(2) 目指すまちの目的・方針を踏まえた目標の設定

ニュータウン事業で造成された地域では、白井市を取り巻く環境の変化を見据えつつ、美しい街並みや落ち着いた雰囲気といった市民が感じる「白井らしさ」を継承するように都市機能を更新していくことが求められています。また、持続可能な農業や、自然環境の保全と活用など、人の営みを持続させながら白井市の豊かなみどりを継承していく方法を模索していくことが重要です。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 魅力的な住環境が充実するまち

目標 2 人とみどりが調和するまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
魅力的な住環境が充実するまち	住宅老朽化率			市資料
	住環境の満足度			市民意識調査
人とみどりが調和するまち	市内のみどりの保全や活用に参加する市民の割合			市民意識調査
	市のみどりに満足していると感じる市民の割合			市民意識調査

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 魅力的な住環境が充実するまち

【現況や課題】

白井市はニュータウン事業から 40 年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいます。また、近年は空き家が増加し、治安の悪化や防災リスクの増大が懸念されます。

【課題の整理】

魅力的な住環境が充実するまちを達成するには……

- ・ニュータウンの再生に向けた住環境の整備が必要
- ・美しい景観の街並みの創出と保全が必要

目標 2 人とみどりが調和するまち

【現況や課題】

白井市は梨を中心とした農業が盛んですが、産業構造の変化や担い手不足によって、農を中心とした営みが衰退しつつあります。

また、近年、様々な国際会議や国の政策として、自然環境の保全や都市緑化の推進が重要視されています。白井市においても、豊かな自然環境の保全と活用を進めていくことが求められています。

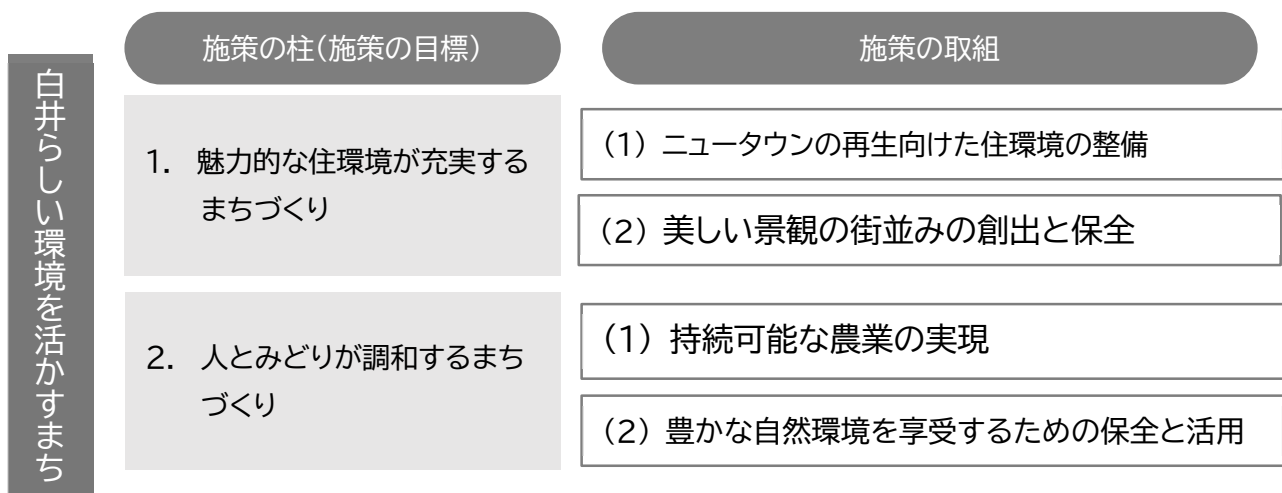
【課題の整理】

人とみどりが調和するまちを達成するには……

- ・持続可能な農業の実現が必要
- ・豊かな自然環境を享受するための保全と活用の促進が必要

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とお示します。



Ⅲ. 前期基本計画

(5) 目標達成に向けた施策の取組

Ⅲ. 前期基本計画

3.5 新しい産業が栄えるまち

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

新しい産業が栄えるまち	
目的	分野を超えた連携などによって、新たな産業とともに発展するまちを目指します。
方針	そのために、既存の産業が持続的に発展しつつ、互いの強みや白井市の特性を活かした新しい産業の振興を推進します。 また、地域のポテンシャルを活かした企業誘致により、新しい産業を発展させるとともに、雇用の創出を推進します。

(2) 目指すまちの目的・方針を踏まえた目標の設定

白井市の既存産業は、担い手の確保や産業インフラの整備といった課題を抱える中で、持続的な産業のあり方や新しい産業のあり方を模索していくことが求められています。また、地域経済の更なる発展に向けては、企業誘致ニーズに対する用地確保や魅力的な働く場の創出が課題となっています。施設配置や土地利用の見直しや、時代に即した働き方の支援を進めることで、新たな産業を創出することが重要です。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 地域産業が振興するまち

目標 2 新たな産業でにぎわうまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
地域産業が振興するまち	製造品出荷額			経済センサス(国)
	農業産出額			農林業センサス(国)
新たな産業でにぎわうまち	市内の事業従事者数			経済センサス(国)
	市内の事業所数			経済センサス(国)

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 地域産業が振興するまち

【現況や課題】

白井市は2020年に人口が減少に転じ、少子高齢化が進行しています。これによって、労働力の確保や地域経済の活力維持が課題となっています。地域の既存産業が競争力を維持・向上するためには、技術革新や市場開拓などによって、既存産業のあり方を模索していく必要があります。

【課題の整理】

地域産業が振興するまちを達成するには……

- ・市内産業の振興が必要
- ・産業機能の向上の推進が必要

目標 2 新たな産業でにぎわうまち

【現況や課題】

地域産業の更なる発展に向けては、新たな産業の創出が求められますが、白井工業団地などの市街化区域において、企業が立地を希望する空き用地が不足しているため、現状では新たな企業誘致が難しい状況です。また、新たな産業の創出にあたっては労働力の確保が不可欠ですが、多様なライフスタイルに合った多様な働き方を支援し、魅力的な働く場を創出していく必要があります。

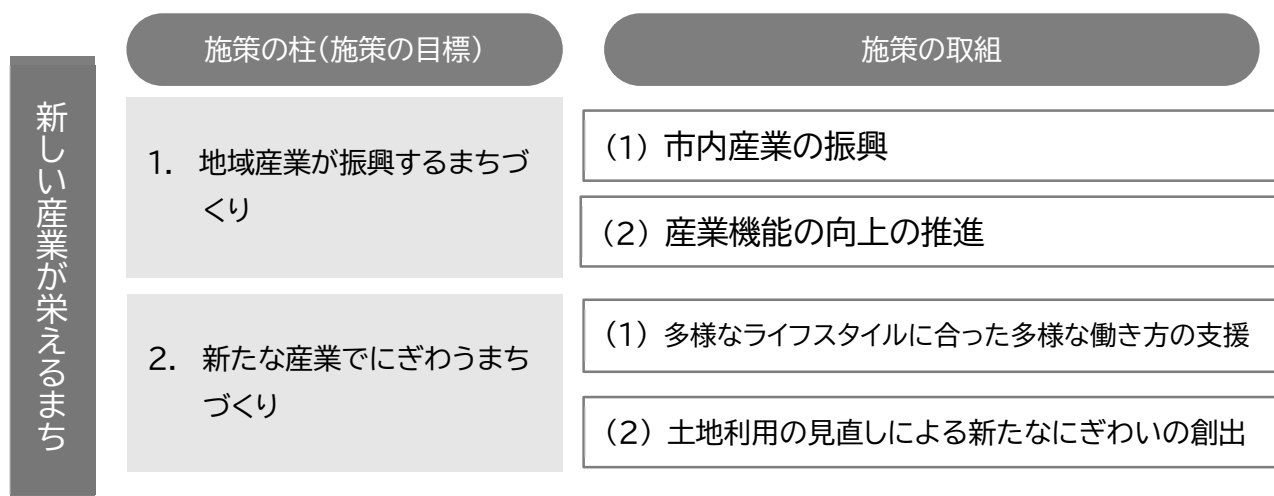
【課題の整理】

新たな産業でにぎわうまちを達成するには……

- ・多様なライフスタイルに合った多様な働き方の支援が必要
- ・土地利用の見直しによる新たな賑わいの創出が必要

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。



Ⅲ. 前期基本計画

(5) 目標達成に向けた施策の取組

Ⅲ. 前期基本計画

3.6 災害に強いまちの取組

(1) 目的・方針の整理

基本構想で示した目指すまちを目的と方針に整理すると次のとおりです。

災害に強いまち	
目的	災害に強く、安全・安心を基盤に永く発展し続けるまちを目指します。
方針	そのために、既存のインフラの維持管理や修繕を着実に実行するとともに、既存施設の有効活用を推進します。 また、日ごろから防災意識の向上や、市民や企業などが団結した地域全体での災害体制づくりを推進します。

(2) 目的・方針を踏まえた目標の設定

大規模災害に備えて、白井市では老朽化した施設・設備を強化していくことが求められています。また、災害時には、自分や家族だけでなく、地域、行政が連携して避難活動を行うことが求められており、平常時から連携体制を構築しておくことが重要です。

このことを踏まえて、目標を以下のとおり掲げます。

目標 1 災害に強い施設・設備で守るまち

目標 2 災害時に共に支え合うまち

◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
災害に強い施設・設備で守るまち	災害対策が完了した施設・インフラの割合			事業評価
災害時に共に支え合うまち	災害時の不安度合			市民意識調査

(3) 目標を達成するための課題

目標 1 災害に強い施設・設備で守るまち

【現況や課題】

白井市では公共施設やインフラの老朽化が進み、大規模災害の発生時には甚大な被害が懸念されます。

また、防災拠点とは、被災時に防災活動の拠点として機能するだけでなく、平常時には住民の賑わいや憩いの場として利用するなど、既存ストックの活用が求められています。

【課題の整理】

災害に強い施設・設備で守るまちを達成するには……

- ・施設やインフラの老朽化などへの対応が必要
- ・既存ストックを活用した防災機能強化が必要

目標 2 災害時に共に支え合うまち

【現況や課題】

災害対策の基本的な考え方である「自助・共助・公助」は、自分や家族、地域、行政が連携して災害に備え、被害を最小限に抑えることを目的としています。災害時に連携が図られるためには、日頃から連携体制を構築しておく必要があります。

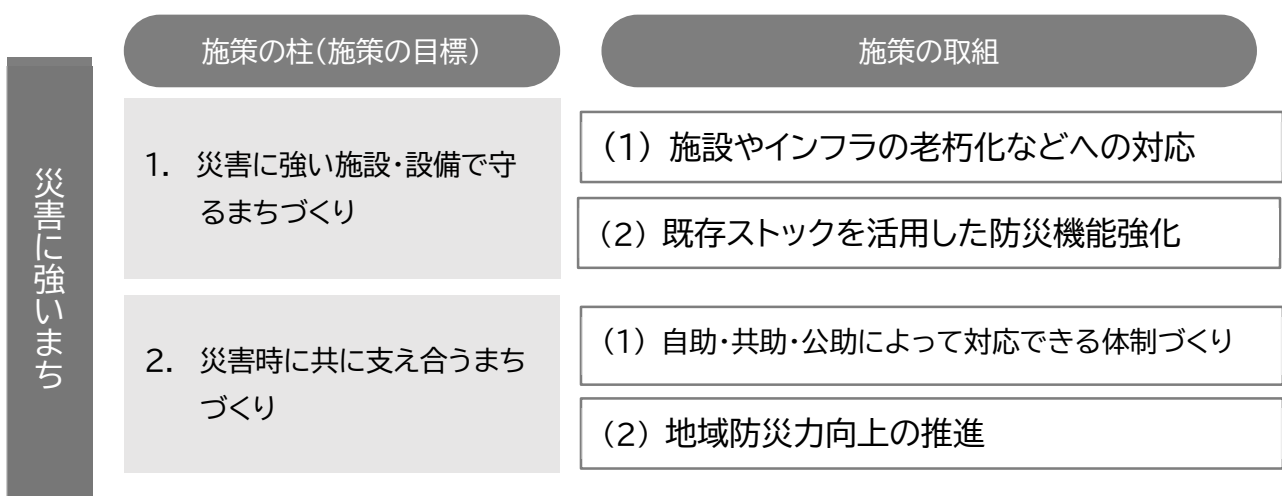
【課題の整理】

災害時に共に支え合うまちを達成するには……

- ・自助・共助・公助によって対応できる体制づくりが必要
- ・地域防災力向上の推進が必要

(4) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。



Ⅲ. 前期基本計画

(5) 目標達成に向けた施策の取組

4. 事業の効率的・効果的な進め方

各施策目標を効率的・効果的に進めるためには、基本構想で示した＜共有＞＜分野横断＞＜連携・協働＞の基、市に関わる多様な主体で効率的・効果的に事業を推進する必要があります。



多様な主体がより効率的・効果的に事業を推進するため、事業の効率的・効果的な進め方を示します。

(1) シティプロモーション(PR)

- ・事業（サービス）の積極的な情報発信が効果的である旨
- ・発信方法など

(2) 財源の確保

- ・補助金、企業版ふるさと納税、ネーミングライツ、クラウドファンディングの有効活用について

(3) PDCA サイクルの有効活用

- ・Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）